

「みやざき水ビジョン2020」施策評価用紙(表面)

評価者

〇〇〇〇 委員

施策番号	実施方策名	上下水道事業経営審議会の意見(事務局案)に対する意見・修正等、取組に対する意見等	評価
I-1	安全で良質な水の供給	(案) 「宮崎市水安全計画」に基づき、原水における監視体制を含め、水質検査を適正に実施する等、各取組で一定の成果が出ている。引き続き、水質監視システム体制の適切な維持管理に努め、水質管理を徹底するとともに、関係機関とも連携して水源地の適正な維持管理を行い、安全性・透明性の確保に向けて取り組まれるよう期待する。	
I-2	水道施設の更新・耐震化		
I-3			
I-4	鉛給水管の解消	(案) 鉛給水管の解消について目標を上回る達成率となり十分な成果が出ている。引き続き、計画的に工事を実施し、鉛給水管を使用している世帯に周知を行い、鉛給水管が早期に解消されるよう期待する。	
I-5	給水装置の適正な管理	(案) 指定給水装置工事事業者の更新事務など、各取組で一定の成果が出ているが、給水装置の不具合等による事故防止は、指定給水装置工事事業者の技術力向上にかかっているため、指定給水装置工事事業者の講習会の在り方について引き続き検討し、事業者の技術等のさらなる向上が図られるよう期待する。	

①上段に記載の上下水道局で作成した施策評価調書に対する意見を記入してください。特にない場合は、空欄のまま構いません。

②A,B,C,Dのいずれかから評価を記入してください。

上下水道局で作成した「【資料3】令和5年度施策評価調書」や「【資料4】外部評価のポイント・令和4年度主要事業等について」をもとに、社会情勢による影響等も勘案しながら、各施策の取組方針、主要事業の実施状況、指標の達成度、取組実績の進捗状況や内部評価に対してそれぞれ評価・意見を行って下さい。

※裏面に続きます。

評価区分	評価内容
A	十分な成果を認める
B	概ね、成果を認める
C	一部、取組内容や手法の改善が必要
D	取組内容や手法の抜本的な見直しが必要

「みやざき水ビジョン2020」施策評価用紙(表面)

評価者

委員

施策番号	実施方策名	上下水道事業経営審議会の意見(事務局案)に対する意見・修正等、取組に対する意見等	評価
I-1	安全で良質な水の供給	(事務局案)「宮崎市水安全計画」に基づき、原水における監視体制を含め、水質検査を適正に実施する等、各取組で一定の成果が出ている。引き続き、水質監視システム体制の適切な維持管理に努め、水質管理を徹底するとともに、関係機関とも連携して水源地の適正な維持管理を行い、安全性・透明性の確保に向けて取り組まれるよう期待する。	
I-2	水道施設の更新・耐震化	(事務局案)浄水場や管路など、水道施設の更新・耐震化が各取組で概ね順調に進捗している。災害時にも安定した水の供給ができるよう、今後も水道施設における更新の優先度等を精査し、効率的・計画的に事業を推進されるよう期待する。	
I-3	漏水対策の推進	(事務局案)経年管更新事業計画に基づき、計画的に更新事業が行われており、一定の成果が出ている。また漏水対策として発生地域の絞り込み等の対策も行われているが、早期発見・早期修理に努め、有収率の向上、限りある水資源の有効利用に向け、効果的な漏水対策が推進されるよう期待する。	
I-4	鉛給水管の解消	(事務局案)鉛給水管の解消について目標を上回る達成率となり十分な成果が出ている。引き続き、計画的に工事を実施し、鉛給水管を使用している世帯に周知を行い、鉛給水管が早期に解消されるよう期待する。	
I-5	給水装置の適正な管理	(事務局案)指定給水装置工事事業者の更新事務など、各取組で一定の成果が出ているが、給水装置の不具合等による事故防止は、指定給水装置工事事業者の技術力向上にかかっているため、指定給水装置工事事業者の講習会の在り方について引き続き検討し、事業者の技術等のさらなる向上が図られるよう期待する。	

評価区分	評価内容
A	十分な成果を認める
B	概ね、成果を認める
C	一部、取組内容や手法の改善が必要
D	取組内容や手法の抜本的な見直しが必要

## 「みやざき水ビジョン2020」施策評価用紙(裏面)

施策番号	実施方策名	上下水道事業経営審議会の意見(事務局案)に対する意見・修正等、取組に対する意見等	評価
I-6	工業用水道施設の更新・耐震化	(事務局案) 台風の影響により入札不調となった管理棟の耐震工事について、今後の耐震化事業に支障のないよう、別手法の検討や取組・工夫を期待する。また管路の耐震化等についても今後の実施に向けて計画的に事業を推進されるよう期待する。	
II-1	公共下水道処理施設・管路の老朽化対策	(事務局案) 重要路線内の老朽下水道管きよの改善率に一定の成果が出ている。大淀処理場焼却炉代替施設整備事業については、急激な資材費の高騰等の事情により不落となったため、引き続き、公共下水道施設の点検や調査を実施し、実施可能な計画を検証しながら、老朽化対策に早急に取り組まれるよう期待する。	
II-2	浸水対策の推進	(事務局案) 浸水発生エリアの絞り込み作業等により一定の成果が出ている。浸水発生箇所の特定は時間を要する作業であるが、引き続き、選定したモデル地区における対策効果の検証やスクリーニング調査により浸水の発生が解消されるよう期待する。	
II-3	公共下水道処理施設・管路の耐震化	(事務局案) 処理場やポンプ場及び管路等の耐震工事を実施し、各取組で一定の成果が出ている。今後も、下水道総合地震対策事業計画等に基づき公共下水道処理施設及び管路の効果的かつ計画的な耐震化・耐津波化が着実に推進されるよう期待する。	
II-4	浸水対策の推進	(事務局案) 排水路整備工事等の実施により一定の成果が出ている。引き続き、河川及び道路の管理者と連携しながら、浸水被害が発生する地域における効果的な被害軽減対策に積極的かつ確実に取り組まれるよう期待する。	
II-5	農業集落排水施設の老朽化対策	(事務局案) 農業集落排水施設最適整備構想・再編計画に基づき、国庫補助金の活用に向け農業集落排水施設事業計画を策定するなど、進捗に一定の成果が出ている。引き続き国・県と協議を行い、農業集落排水施設事業計画に沿った事業の実施に取り組まれるよう期待する。	

評価区分	評価内容
A	十分な成果を認める
B	概ね、成果を認める
C	一部、取組内容や手法の改善が必要
D	取組内容や手法の抜本的な見直しが必要

## 「みやざき水ビジョン2020」施策評価用紙(表面)

施策番号	実施方策名	上下水道事業経営審議会の意見(事務局案)に対する意見・修正等、取組に対する意見等	評価
Ⅲ-1	環境負荷の低減と資源循環利用の促進	(事務局案) ラジオやSNS等を活用した広報活動により下水汚泥リサイクル率等、目標を上回る達成率となり十分な成果が出ている。引き続き、汚水処理の過程で発生する資源の更なる有効的な利活用を促進するとともに、「てげいい土」の売上増に向け、積極的な広報活動の継続を期待する。	
Ⅲ-2	環境保全の推進	(事務局案) 下水処理場からの放流水の水質管理の徹底等、一定の成果が出ている。引き続き、大淀川流域の自治体や関係課と連携し、河川浄化啓発活動の積極的な実施や放流水の水質管理徹底等、河川浄化の活動を強化されることを期待する。また、水環境保全活動のきっかけづくりや必要な環境整備に取り組まれるよう期待する。	
Ⅳ-1	危機管理対策の推進	(事務局案) 給水拠点を整備するとともに、整備した施設の職員向けに組立式給水タンクの組立訓練を新たに実施しており、危機管理対策への一定の取組が認められる。引き続き、防災は「想定外」の対応になることを念頭に災害時の協力組織体制や対策を定期的に検証するとともに、給水拠点の配備や災害用資機材の維持管理を適正に行い、危機管理対策の更なる充実に取り組まれるよう期待する。	
Ⅳ-2	人材育成と技術継承の推進	(事務局案) 「職場環境改善アドバイザー派遣事業」を活用した研修を新たに実施する等、一定の取組が認められる。引き続き、上下水道局職員の人材育成や蓄積技術の円滑な継承に向け、人材の確保や効果的な研修の在り方を検討し、十分な研修機会が継続的に提供されるとともに、職員に積極的な研修受講の勧奨を行うよう期待する。	
Ⅳ-3	広域化等の推進	(事務局案) 農業集落排水施設の1施設が公共下水道と統合し供用開始され、汚水処理に関する広域化・共同化について一定の成果が出ている。引き続き、汚水処理の広域化・共同化に向け、さらに検討されるよう期待する。また、水道事業の広域化について、県水道広域化推進プランに基づく近隣市町村の状況把握に努め、検討されるよう期待する。	

評価区分	評価内容
A	十分な成果を認める
B	概ね、成果を認める
C	一部、取組内容や手法の改善が必要
D	取組内容や手法の抜本的な見直しが必要

## 「みやざき水ビジョン2020」施策評価用紙(裏面)

施策番号	実施方策名	上下水道事業経営審議会の意見(事務局案)に対する意見・修正等、取組に対する意見等	評価
IV-4	官民連携の推進	(事務局案) 委託業務において、各取組で一定の成果が出ている。大淀処理場汚泥焼却設備の改築更新については、資材費の高騰等の事情により不落となり、また、汚泥処理について新たに国の方針が示されたことから、今後、官民連携を含め実施可能な計画を検証されるよう期待する。	
IV-5	経営基盤の強化	(事務局案) 各取組で目標を上回る成果が出ているが、今後の将来予測では施設・管路の更新等で健全な経営が厳しい状況となることが見込まれていることから、引き続き、経営戦略の確実な進捗管理のもと各取組を推進し、効率的かつ健全な経営の取組を期待する。また、上下水道料金は市民生活に大きな影響を与えることを踏まえ、丁寧で分かりやすい説明が行われることを期待する。	
V-1	ICT・IoTの推進	(事務局案) 上下水道の使用開始・中止等の届出に係るネット受付導入など、各取組で一定の成果が出ている。引き続き、利用者の利便性向上及び経営の効率化に向け、キャッシュレス決済の拡充を図るとともに、他都市の優良事例等を参考に、ICTを活用した経営改善及び業務の効率化に積極的に取り組まれるよう期待する。	
V-2	広報活動の充実	(事務局案) 市公式SNSを活用した上下水道事業の情報配信等、各取組で一定の成果が出ている。引き続き、水道週間及び下水道の日の作品募集に取り組むとともに、市民目線での広報紙づくりやSNSの活用などにより、広報活動の一層の充実に取り組まれるよう期待する。	
V-3	お客さまサービスの向上	(事務局案) QRコードによるお客さまアンケート受付の開始等、各取組で一定の成果が出ている。引き続き、お客さまアンケートやSNSを活用して市民ニーズの把握に努めるとともに、施設見学や出前講座の安全な実施方法などを検討し、上下水道事業をさらに効果的にPRする積極的な取組を期待する。	

評価区分	評価内容
A	十分な成果を認める
B	概ね、成果を認める
C	一部、取組内容や手法の改善が必要
D	取組内容や手法の抜本的な見直しが必要